



記入例

作成日を記入しましょう

大府市防災家庭版マニュアル -地震版-

赤字が記入例です

災害時の不安が多数ある中、家族で話し合うツールとして、発災後の動きや災害時の対応、事前準備など自助を高めるためのきっかけとしてご活用ください。

日頃の備えをチェックしよう！

災害用伝言ダイヤル171

災害発生時に被災地への通信が繋がりにくい状況になった場合、安否情報などを録音・再生できるボイスメールとして利用できます。

録音時間は1伝言30秒以内。伝言登録数は1つの番号あたり1~20件。

※登録出来る伝言数を超えると、古い伝言から削除されます

災害時にスムーズにやり取りするために、あらかじめ家族でどの電話番号を登録するか決めておくことをおすすめします。NTT各社では、災害時以外にも災害用伝言ダイヤル171を体験できるように「体験利用日」が設定されています。(毎月1日と15日、1月1日~1月3日、防災週間8月30日~9月5日、防災とボランティア週間1月15日~21日)

インターネットで使える災害用伝言版 (web171) もあります。

伝言を残す (録音)

- 「171」にダイヤル→音声ガイダンス
- 「1」を押す→音声ガイダンス
- 自宅 (市外局番から) や携帯番号を入力
- 録音する (30秒以内)

伝言を聞く (再生)

- 「171」にダイヤル→音声ガイダンス
- 「2」を押す→音声ガイダンス
- 伝言を聞きたい電話番号を入力
- 再生する

●家族で登録する番号 ⇒ **0123-0X-4567**



QRコードを読み取り
自宅から近い設置場所
(目印等) を書き込みま
しょう

災害用伝言ダ
災害用伝言版V
(NTT西日)



公衆電話 設置場所検索
(NTT西日本)

●自宅近く⇒**□×クリニック前**

避難 について

地震が発生した時はまず自分の身を守り、自宅の安全が確認できれば可能な限り自宅での避難をお勧めします。
(建物の安全点検などで避難所開設に時間を要する場合があります)
自宅で避難生活を送っていても、避難所に行き登録を行った上で支援物資を受け取る事が可能です。
また、要支援者 (高齢や障がいなどの理由で福祉的な配慮を必要とする方) のために開設される福祉避難所についても日頃から情報を確認しておきましょう。



福祉避難所



大府市自立支援協議会 子ども部会作成
(令和7年12月版)



<p>自宅や 周辺の 危険度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自宅が現在の耐震基準を満たしている。 ※昭和56年 (1981年) 6月1日以降に建築または耐震化工事を行っている。 ✓ 自宅周辺や移動途中に倒壊の恐れがある建造物がない、またはある場所を把握している。
<p>避難場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 災害が発生した時、自宅以外で家族が避難できる場所を把握している ⇒ ○△公民館 <p>災害時を想定し家族の役割や動きを考えてみましょう</p> <p>メモ (例) 要配慮者はいるか・ベットのほうどうするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難時は祖母の歩行をサポートする ・非常用持ち出し袋は長男が持つ
<p>非常用 持ち出し品 (一例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓飲料水 ✓食品 ✓携帯トイレ ✓衣類 ✓常備薬【期限：2027年12月/30日分】 ✓お薬手帳 (薬剤情報) のコピー ✓日用品 (歯ブラシ等) ✓貴重品 ✓小銭 ✓簡易トイレ (携帯型) ✓現金 (1万円札等) ✓モバイル充電器 (モバイルバッテリー等) ✓軍手 ✓懐中電灯、ランタン、マッチ ✓燃料 (卓上コンロ、ガスボンベ等) ✓生理用品またはオムツ ✓救急セット (消毒液、絆創膏、ガーゼ) <p>期限を確認し予備の薬を用意しておきましょう</p> <p>非常用持ち出し袋の置き場所 ⇒ 玄関 (靴箱の中)</p> <p>他に必要な物があれば書き込みましょう (例) 持っている安心するもの等</p>
<p>※災害時に避難がしやすいように中身は重くなり過ぎず、袋に入れる順番や詰め方を考えてみましょう。</p>	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ イヤーマフ (次男) ✓ 折りたたみの杖 (祖母) <p>参考↑『東京備蓄ナビ』 (日常備蓄に関するサイト)</p>
<p>確認しておくこと (一例)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓家庭内の災害時の連絡方法や集合場所を確認する ✓家具の転倒・落下防止対策をする ✓ハザードマップで危険地域を確認する ✓避難行動要支援者名簿及び個別避難計画作成 ✓防災関連のホームページ閲覧・アプリの登録 (情報収集) <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 寝室の動線に家具を置かない ✓ 発災後、親戚宅に避難可能かどうか聞いておく <p>Android端末未用↓</p> <p>iPhone端末未用↓</p> <p>参考：防災情報アプリ『おぶ防災行政ナビ』</p>



地震発生

もしも平日の昼間、家族がそれぞれ違う場所にいる時に地震が起きたら・・・
どのように家族と連絡手段や家族それぞれの状況を書き込み、災害時を想定し自宅や携帯等、家族個人の連絡先を書き込みましょう！



家族全員が家にいる場合
家族が離れている場合

●氏名 大府 (父) ●連絡先 ① 0123-OX-4567 ② 090-1100-22XX	●氏名 大府 (母) ●連絡先 ① 0123-OX-4567 ② 080-22XX-3300	●氏名 大府 (長男) ●連絡先 ① 0123-OX-4567 ② 080-33XX-0044	●氏名 大府 (次男) ●連絡先 ① 0123-OX-4567 ② _____	●氏名 大府 (長女) ●連絡先 ① 0123-OX-4567 ② _____	●氏名 大府 (祖母) ●連絡先 ① 0123-OX-4567 ② 090-44XX-5500
【日中いる場所】 ① ○X株式会社 TEL: 000-111-2222 他: _____ ② _____ TEL: _____ 他: _____ ③ _____ TEL: _____ 他: _____	【日中いる場所】 ① xxスーパー TEL: 1111-22-3333 他: _____ ② サッカー教室●● TEL: 5555-66-7777 他: _____ ③ _____ TEL: _____ 他: _____	【日中いる場所】 ① △△中学校 TEL: 2222-33-4444 他: アプリで配信 ② _____ TEL: _____ 他: _____ ③ _____ TEL: _____ 他: _____	【日中いる場所】 ① □□小学校 TEL: 3333-44-5555 他: アプリで配信 ② 放デイ◇◇ TEL: 6666-77-8888 他: _____ ③ 放デイ□□ TEL: 7777-88-9999 他: _____	【日中いる場所】 ① ○○保育園 TEL: 4444-55-6666 他: アプリで配信 ② _____ TEL: _____ 他: _____ ③ _____ TEL: _____ 他: _____	【日中いる場所】 ① 自宅 TEL: 0123-OX-4567 他: _____ ② ○△公民館 TEL: 0123-4●-56●8 他: _____ ③ X△整形外科 TEL: 01●●-55-6666 他: _____
【帰宅所要時間】 ① 徒歩 150 分 ② 徒歩 _____ 分 ③ 徒歩 _____ 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 10 分 ② 徒歩 _____ 分 ③ 徒歩 _____ 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 30 分 ② 徒歩 15 分 ③ 徒歩 _____ 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 15 分 ② 徒歩 30 分 ③ 徒歩 20 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 10 分 ② 徒歩 _____ 分 ③ 徒歩 _____ 分	【帰宅所要時間】 ① 徒歩 _____ 分 ② 徒歩 5 分 ③ 徒歩 30 分

電話以外の手段があれば記載を
してください

毎日通っていないくても平日に利用
している所を書き込みましょう

私と家族の行動

あわてずに行動する

家族の安全を確認
 火の始末をする
 余震に注意する

揺れが収まったら

家を出るときはガスの元栓を閉めブレーカーを落とす

避難行動

自宅近くの一時避難場所に行く
 自宅が安全であれば、在宅避難

避難生活

在宅避難時に物資や食べ物が必要な場合は、避難所で避難者登録をする必要がある

家族の体調管理をする
 体調に心配がある時の相談先
⇒ ○○クリニック
⇒ □□調剤薬局
(例) かかりつけの病院 薬局など

【発災後の集合場所】 ※具体的に

① 自宅 ② ○△公民館横のベンチ前 ③ □○公園の芝生広場

●メモ
集合の仕方を家族で話合ってみましょう

【連絡手段】

通話 (携帯電話) メール
 通話 (公衆電話) SNSのDM その他⇒防災アプリのチャット
 LINE 災害用伝言ダイヤル「171」
※裏表紙参照

●メモ
日頃から使い慣れていない手段は体験利用してみる

●自由記述 (例) 家族と全く連絡取れなかった場合は? お迎えが必要な時は、どこに誰が行く?

- ・母が長女の保育園に迎えに行けない時は長男が迎えに行く。
- ・次男の放課後等デイサービスへは母が迎えに行く。
- ・家族と連絡が取れない場合は、無理して自宅に戻ろうとせず安全な場所で待機する。

日頃から家族で話していることや家族全員が知っておいた方がよいこと等自由に書き込みましょう